

税理士実務家インタビュー



Interview 01

独立開

山本 憲明さん

Noriaki Yamamoto

Profile

山本憲明税理士事務所
税理士

1970年生まれ。兵庫県出身。早稲田大学政経学部卒業後、横河電機に入社、5年間の技術畑を経て、2000年に独立。2003年、税理士合格。2005年1月、株式会社「税理士・経営者・起業家」を設立。以前からWebを活用し顧問先を拡大。著書に「働きながら3年で!税理士最短合格の道(インデックス・コミュニケーションズ)」、「税理士・経営者・起業家」(同社)。

ベースとなる税務業務から財務的アドバイスにシフト

フル勤務ながら4年で税理士
5科目合格

高校3年の夏に部活を引退してから大学受験を始め、なんと11戦11勝。試験勉強が特技だと自負しています。とはいっても、学生時代に資格に縁があったわけではありません。大学卒業後、横河電機に勤務し、5年ほどして自らの進む道を模索し始めた私は、いろいろな道を探る中で自分の特技が受験勉強であることを思い出したのです。

そこで、自分が資格試験が得意、数字に強い、サラリーマンであるよりも独立開業したいという3点を考え、税理士を目指そうという結論に至りました。29歳で簿記3級からスタート、4年間で税理士5科目に合格できたのです。

資格取得の理由

「特技が試験勉強、数字に強い、独立開業したい」
以上3点で税理士になろうと思いました。

規模拡大より質の充実を目指す

税理士を目指そうと考えた私は、自ら希望して経理部に異動し、退職するまで決算短信や有価証券報告書等の財務諸表の作成、連結決算レポート、法人税・消費税・地方税の申告を担当しました。経理の仕事は受験にプラスになり、受験勉強は仕事上プラスになるという嬉しいシナジー効果が生まれました。

仕事を覚えるために会計事務所への転職も考えましたが、大手企業での安定的収入があったので、あまり前例のないパターンかもしれませんが、税理士登録をした年に横河

電機を退社し、翌年34歳で独立開業することに決めました。

実際の独立時期を2005年1月と決めたのは開業半年前。その頃からホームページを自ら立ち上げ、メルマガを配信し、セミナーに参加し、いろいろな方に会い、勉強して独立開業に向けて周到に準備を始めました。会計事務所の勤務経験がないので、年明けから先輩の事務所へも週1ペースで通い、確定申告等、税理士業務を営む上でのノウハウも学びました。結果、開業初月から売り上げ69万円を達成するという、順調な滑り出しとなったのです。開業3か月で顧問数は13社となり、3年経った現在、顧問数は法人個人併せて約55社と成長することができました。

業務内容は基本的に月次顧問、税務申告等の税務業務中心ですが、これからの課題として財務的アドバイスなどコンサルティング業務にシフトしていきたいと考えています。

現在、会計士1名、税理士1名、スタッフ2名で、55社の顧問先に対応しています。お客様でかなり順調に拡大してきていますが、いたずらに規模的拡大を狙うのではなく、お客様を大切にする、小さいながらも質の高い事務所を目指していきたいという思いが溢れています。まずはお客様にできるだけ自計化をしていただき、上がってきた数字を使って経営コンサルティングを行うことがメイン業務となるように、事務所の内外の質的充実を図ってきたいですね。

資格取得のメリット

基本的な税務業務だけでなく、財務的アドバイスができるのも税理士です。顧問契約によって安定収入を得られるのも魅力です。

社会経験を積みながら
してほしい

今後の夢として、個人的には別の組織を起業し、会計的基盤として、新しい分野にという思いがあります。数ある税理士は顧問契約による収益性の高い資格です。金に必要の資格なので、今後もがあるはずですよ。

みなさんは、税理士という
に必要だと思うのであれば、
格することを第一目標として
すならばとことんやったほう
勤務しながらだつとい「忙し
してしまいがちですが、逆に
してしまうと刺激がなくなって
格するためには工夫して仕事
勉強の時間はきちんと確保す
だと思っています。科目合格制
ずつ取れる資格なので、ぜひ
しながら、社会経験を積みつ
ただきたいですね。

アドバイス

合格を第一目標に、目指すならとこ
さい。科目合格制の税理士なら実
験を積みながら目標達成できます。
しいですね。